

## 練習問題9 (IS-LM分析)

## 問題1

IS-LM 分析において、IS 曲線が横軸(国民所得)に対して垂直に立っている場合を説明する記述として、妥当なのはどれか。

- 1 投資の利子弾力性がゼロのケースであり、財政政策が有効である。
- 2 貨幣需要の利子弾力性が無限大のケースであり、金融政策が有効である。
- 3 「流動性のわな」のケースであり、財政政策が有効である。
- 4 投資の利子弾力性が無限大のケースであり、金融政策が有効である。
- 5 貨幣需要の利子弾力性がゼロである「古典派」のケースであり、金融政策が有効である。

【地方上級・平成5年度】

## 問題2

貨幣需要に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

- 1 貨幣の取引需要は、主に国民所得の大きさに依存するとされているが、国民所得に対する貨幣の取引需要の比率が大きくなれば、LM 曲線は左上方にシフトする。
- 2 貨幣の取引需要は、主に利子率に依存されるとされており、利子率が上昇すれば、LM 曲線は左上方にシフトする。
- 3 貨幣の資産需要は、主に国民所得の大きさに依存するとされているが、国民所得に対する貨幣の資産需要の比率が大きくなれば、LM 曲線は右下方にシフトする。
- 4 貨幣の資産需要は、主にマネーサプライに依存するとされているが、マネーサプライが変化しても、貨幣の資産需要が一定の時、流動性のわなが存在する。
- 5 貨幣の資産需要は、主に利子に依存するとされているが、利子率が変化しても、貨幣の資産需要が一定の時、流動性のわなが存在する。

【地方上級・平成2年度】

**問題 3**

ある経済が不完全雇用状態にあるとする。この経済の IS-LM 曲線に関する記述のうち、妥当なものはどれか。

ただし、特段の条件設定がない場合には、IS 曲線は右下がり、LM 曲線は右上がりであるものとする。

- 1 投資の利子弾力性がゼロである場合、IS 曲線は水平になる。
- 2 投資の利子弾力性が無限大である場合、貨幣供給を増やすと均衡利子率は低下する。
- 3 貨幣需要の利子弾力性がゼロである場合、LM 曲線は水平になる。
- 4 政府が財政支出と租税とを同額だけ増加した場合、均衡利子率は低下する。
- 5 流動性のわなにおいては、財政支出の増加は均衡利子率を変化させない。

【国家Ⅱ種・平成 10 年度】